

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ギア・トリプルエス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ギア・トリプルエス**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤

**比較対照ボール：ギア・エスエス**

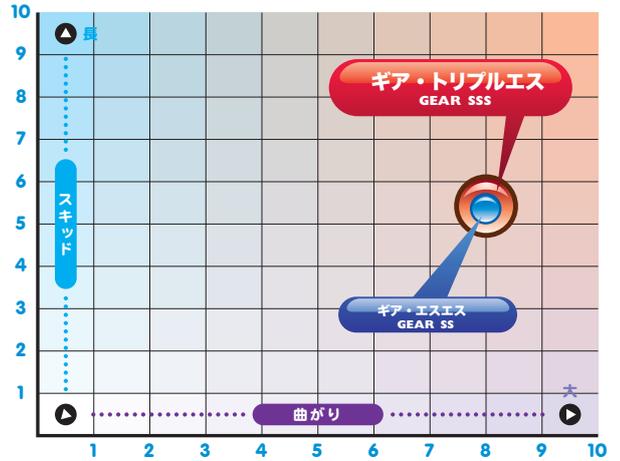
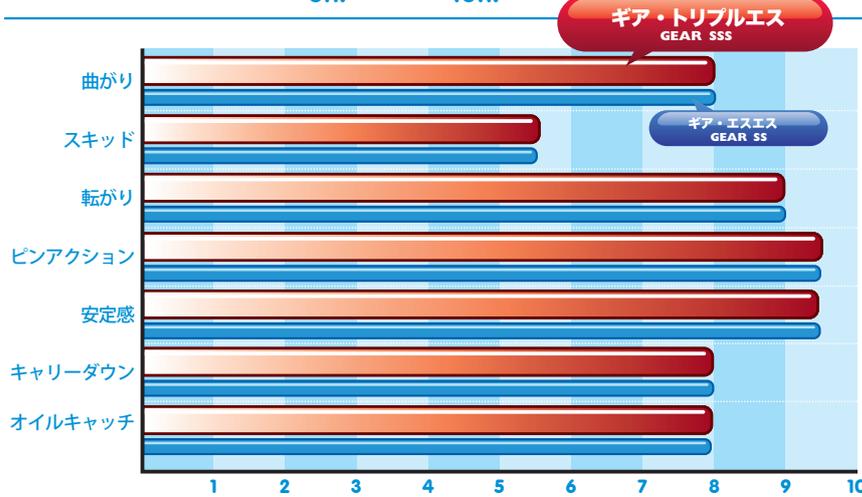
フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤



### ボールの評価

900Globalの製品で最もポピュラーな代表作。それは現在もGEARに変わりはないでしょう。初代DREAMからGEARに枝分かれしたものの、74 Response PearlカバーストックはGEARだけに使用を許された素材であり、GEARの心臓部”Identity Asymmetricコア”との相性は抜群で、DREAM、GEAR、GEAR S、GEAR SSを振り返ってもこのシリーズは性能が保証されている分、GEARシリーズを常に求めるファンは少なくありません。今回のGEARもサファイアの配色でGEARシリーズの動きを継承したGEAR SSSをリリースします。

常に感じることですが、Identityコアは手前の転がり感と良い、滑らかな動き出しといい、いつもの自分よりもボールが転がってみる傾向がシリーズを通して感じますね。リリースされた瞬間からすでに転がり感が目で見えて、それでいて掴みすぎることなくしなやかに動く。S74 Response Pearlカバーストックはどちらかと言えば900Globalの中でも中間層の代表的なパフォーマンス領域に属していますので、フランチャイズのコンディションを含め、オイリー系ボールの次のボールチェンジ時に使用頻度が高くなると思います。その中でも動きとしなやかな曲がり、そしてコントロール性能と柔らかいピンキャリーはその領域を任せられるほど申し分ないバランスの取れた性能で、その性能がわかっているからこそ、多くのボウラーはこの領域にGEARシリーズを求めます。

その証にGEARシリーズは代々、トーナメントにおいてABS契約プロ男女問わず使用頻度が毎回高いのがGEARシリーズの特徴でもあり、裏を返せばやはりそれだけボールに対する信頼度が高く、1ピンでも多く倒す勝負の世界で必ずバッグにいれておく性能だということです。これはプロだけでなく多くのボウラーに共通することであり、GEARシリーズが発売された月には必ずチェックをいれなければなりません。

### 特記事項

**900Globalがユタ工場に完全移設したことで実現できたGEAR SSの性能そのまま受け継いだGEAR SSSは、勝負の中盤戦であなたを支えてくれる武器になることでしょう。**